

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	詳細点検
事務事業名	全国健康福祉祭派遣事業	シート番号	A 一般事務事業 11-082
担当部署名	健康福祉 局 長寿社会 部 長寿支援 課	評価責任者(課長名)	羽野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無	
	2	事業開始年度	平成 19 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	老人福祉法				
	4	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30(2018)~32(2020)年度)				
5	事業実施の経緯	国は、厚生省創立50周年にあたる昭和63年から全国健康福祉祭を都道府県・政令指定都市の持ち回りで開催しており、毎年、全国の都道府県及び政令指定都市の選手団が参加している。堺市では、政令指定都市への移行に伴い平成19年度から本市選手団を派遣している。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	市内在住の60歳以上の方			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	高齢者の健康の保持・増進・社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成を目指して、60歳以上の高齢者を中心として、あらゆる世代の人たちが交流を深めることを目的としている。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	堺市・各種競技団体・堺市老人クラブ連合会等からなる全国健康福祉祭堺市実行委員会を結成し、堺市代表選手の選考並びに選手団派遣を行っている。また、同時に開催される美術展に出品する作品を募集し、選考会の開催を経て、堺市代表作品を出品する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 全国健康福祉祭堺市実行委員会				

Ⅲ. 投入量

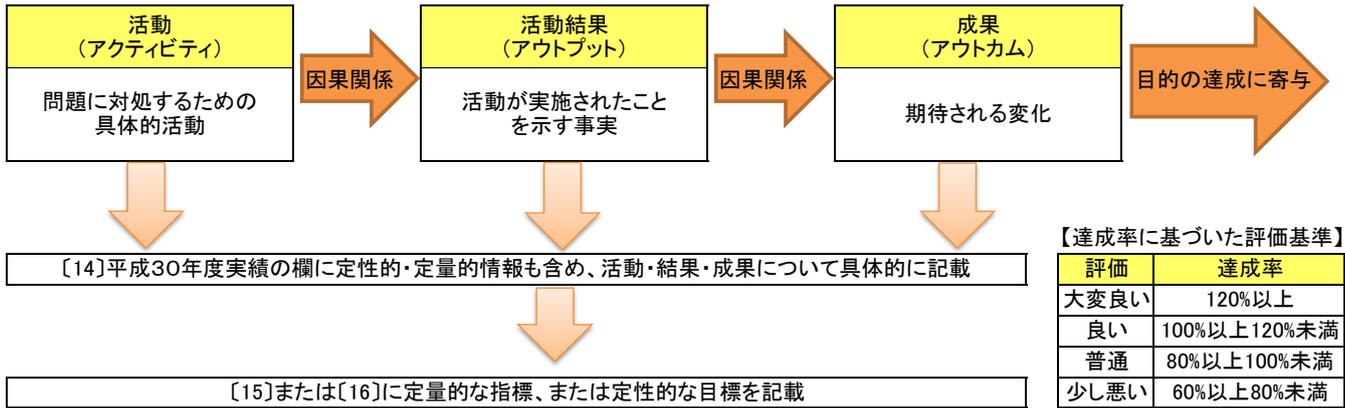
	項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	17,135	16,046	17,082	16,249	
	主な事業費内訳	実行委員会負担金	千円	16,805	16,016	17,010	16,187
		旅費その他	千円	330	30	72	62
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円	17,135	16,046	17,082	16,249
	12	人件費 (b)	千円	1,810	1,810	1,810	1,790
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	18,945	17,856	18,892	18,039	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	全国健康福祉祭派遣事業	シート番号	11-082
-------	-------------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	<p>第31回全国健康福祉祭とやま大会(ねんりんピック富山2018)においては、スポーツ交流種目は22種目、文化交流種目は5種目の計27つの競技種目が設定され、関連イベント等を含めて約50万人が参加している大会となった。 堺市としては、平成30年度の堺市選手団を派遣するにあたり、全国健康福祉祭堺市実行委員会を組織し、チラシや堺市HP、各競技団体HPなどで堺市代表選手の募集・選考を行い、堺市選手団として129名を派遣した。 また、ねんりんピック富山2018大会の福祉・生きがい関連イベントとして富山市で開催された「ねんりん美術展」では、全国から524作品が出品され、堺市からは10作品を選出し、出展した。</p> <p>【平成30年度堺市選手団の選考状況】 ○スポーツ交流種目:18種目、1,077名から120名を選出。 ○文化交流種目:3種目、57名から9名を選出。 ○ねんりん美術展:5部門、92作品の応募から10作品を選出。</p>							
	14	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	15	選手団応募者数	人	目標値	1,411	1,273	1,232	1,134
				実績値	1,273	1,232	1,134	
				達成率	90%	97%	92%	
				評価	普通	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		目標は 前年度実績の予選会の参加人数 実績は予選会参加者数					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		美術展応募作品数	点	目標値	120	92	86	92
				実績値	92	86	92	
				達成率	77%	93%	107%	
				評価	少し悪い	普通	良い	
	算出方法・設定根拠など		目標は前年度応募作品数 実績は応募作品数					

業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>大会開催地毎に競技種目が一部変更されるため、毎年度の応募者数の増減があり、今年度についても、想定範囲内と考えられる。 俳句、川柳、ラグビーフットボール、マラソン、ダンススポーツについては参加者が不在で選考会が開催できないなど、選手団として派遣できなかった。</p>
----	---

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。